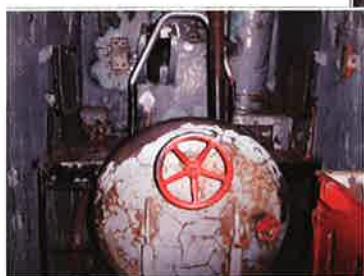




2003年6月2日～8日

ロシア訪問

外務大臣政務官 新藤義孝



新藤外務大臣政務官のロシア極東訪問（概要と成果）

1. 概 要（事実関係）

6月2日（月）～8日（日）、新藤外務大臣政務官はハバロフスク、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー及びウラジオストクを訪問した。

（1）「希望の星」関係

7日、退役原潜解体現場となるズヴェズダ造船所（ウラジオストク近郊）において、最初の解体プロジェクト開始の目処がついたことを踏まえ、両国関係者で式典を開催し、併せて桜の記念植樹を行った。また、退役原潜が係留されているウラジオストク及びカムチャツカにおいて、地元関係者と広範に意見交換した。

（2）日本とロシア極東との関係

新藤政務官は、ハバロフスクにおいてロシア外国貿易銀行主催のセミナーに出席し開会挨拶を行った。ペトロパヴロフスク・カムチャツキーでは、マシュコフツエフ同州知事他と会談。ウラジオストクにおいては、ダリキン沿海州知事、フョードロフ太平洋艦隊司令官、コピイロフ・ウラジオストク市長等と会談した。この他、ハバロフスク、ウラジオストクにおいては日本センターを視察した。

（3）広 報

カムチャツカ、ウラジオストクの双方において内外記者会見を行った他、仙台で開催されていた「川口大臣と語る外務省タウンミーティング」にウラジオストクよりテレビ電話で参加した（7日）。

（4）ハバロフスク、ウラジオストクで日本人抑留者墓地へ墓参した。

2. 成 果

今回の訪問の主要目的は次の通り

- (a) 日本との対露非核化協力の一環である退役原潜解体事業「希望の星」事業推進、
- (b) 日本とロシア極東との協力関係強化

（1）「希望の星」関連

原潜解体事業は長らく頓挫していたが、2002年11月、新藤政務官が現地を訪問し、直接ロシア側関係者と協議したことが契機となって、その後半年で、最初の解体事業開始の目処がつくに至った。この度、新藤政務官がウラジオストクを再訪し、上記式典に参加すると共に、現地関係者と本件事業に向けての決意を再確認したことは、政治的モメンタムを維持・強化する上で、又、広報的な観点から極めて有意義であった。

（2）対ロシア極東関係

現地知事等との会談においては、同地域と我が国の全般的関係強化のために幅広い意見交換を行った。右機会に、極東ロシアの日本重視姿勢が明確に看取された。尚、我が国から政治レベルの要人がカムチャツカ州を訪問するのは戦後初めてであるが、同州側からは我が国との協力への高い期待が示された。



[ハバロフスク] 市街



[ハバロフスク] アムール川



[ハバロフスク] 日本人抑留者建設建物



[ハバロフスク] 平和慰靈公苑



[ハバロフスク] 日本人墓地



[カムチャツカ] 雪山



[カムチャツカ] 雪解け水で増水



[カムチャツカ] パラトウンカ



[カムチャツカ] 空港



[カムチャツカ] 高台からの眺め



[カムチャツカ] 州政府庁舎前



[カムチャツカ] マシュコフツエフ州知事他



[ウラジオストク] 夜の港



[ウラジオストク] 駅



[ウラジオストク] 入港する日本航路の船



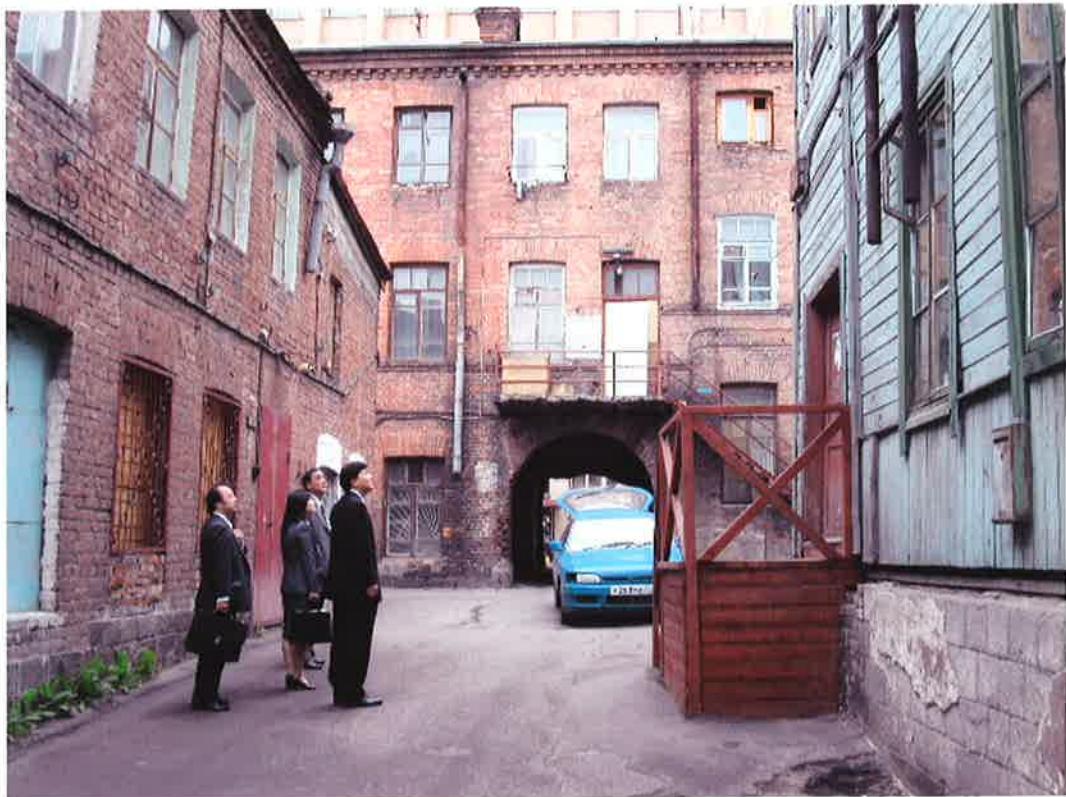
[ウラジオストク] 太平洋艦隊の基地



[ウラジオストク] 日本人抑留者建設石垣



[ウラジオストク] 本願寺跡



[ウラジオストク] 旧日本人街



[ウラジオストク] 旧日本総領事館



[ウラジオストク] 市街



[ウラジオストク] 坂の町



[ウラジオストク] 日本人墓地



[ウラジオストク] 日本センター



[ウラジオストク] ダリキン沿海地方知事



[ウラジオストク] ダリキン沿海地方知事他



[ウラジオストク] フョードロフ太平洋艦隊司令官



[ウラジオストク] コピイロフ市長



[ズヴェズダ造船所] ゲート



[ズヴェズダ造船所] 会談



[ズヴェズダ造船所] 原潜艦橋



[ズヴェズダ造船所] 原潜船腹



[ズヴェズダ造船所] ロシア語によるスピーチ



[ズヴェズダ造船所] 記念植樹



[ズヴェズダ造船所] 昼食会



[ズヴェズダ造船所] 鉄道



[ウラジオストク] タウン・ミーティング



[ウラジオストク] 総領事公邸夕食会



[ウラジオストク] 記者会見



帰国後、川口大臣に報告